

【報告書】

第2回 バドミントンAICHI フェスタ 2024 in おおぶ

県内のバドミントン競技者・コーチの質の向上、そしてバドミントンの魅力を伝えさらに普及させていくことを目的に、見出しのイベントが、昨年度に引き続き8月16日にメディアス体育館おおぶで開催されました。令和6年度は、男女ともにSJリーグで活躍するNTT東日本の監督、選手を合わせて5名をお迎えすることができました。関東から来ていただくということで地震注意情報、台風7号による交通機関への影響も心配され、無事に開催できるかも懸念されたが、楽しみにしている愛知の子どもたち、参加希望の指導者のためという強い思いを持って急遽、車で遠路はるばる来ていただくことができました。

今回お迎えしたのは監督の川前直樹さん、男子では仁平澄也選手、古賀穂選手、女子では上杉杏選手、そして地元大府市出身の篠谷菜留選手の5名となりました。



(左から NTT バドミントン部の皆様 大府市出身篠谷選手 挨拶 井上理事長)

県内の小・中・高生のジュニア選手またその保護者、指導者の計100名(子ども72名、コーチ・指導者・引率等28名)が参加されました。

参加者たちへの監督・選手の紹介・挨拶が終わると、はじめに監督・選手がそれぞれの動きの目的をわかりやすく説明しながら、全員で動的ストレッチやトレーニングを実施しました。その次には様々な実践的なノック、パターン練習を展開。それぞれの練習の前にNTT東日本の選手に見本を見せてもらう中で、そのショットの正確さ、フットワークのスムーズさといった技術の高さに参加者は驚きの表情を隠せない様子が印象的でした。自分たちの番になるとそれを少しでも自分のものにしようとアドバイスを受けながら真摯に取り組んでいました。



(左から川前監督 古賀穂選手 仁平選手 上杉選手 篠谷選手)

午後は、ミニゲーム形式で実践的な内容となりました。10面を使用できるなか、当然ジュニア同士でも対戦する様子がありましたが、やはりNTTの選手が相手をしてくれるコートには長蛇の列ができていました。対戦の中でNTTの選手らが明るく声掛けをする中で、ジュニア選手たちは1本でも長くそれぞれのラリーを続けようと、必死でシャトルを追いかける姿が印象に残りました。練習の最後には県内ジュニアのトップ選手がNTTの選手に挑戦するチャレンジマッチを実施しました。



【シングルス、チャレンジマッチの様子】

シングルスでは、上杉杏選手に岡崎城西高校の馬場選手、そして古賀選手に大里東ジュニアの河村選手が果敢に挑戦しました。各コートを広く使った厳しい球回しの中で放たれる鋭いショットにレベルの高さを感じさせられました。ダブルスでは仁平選手・篠谷選手のミックスダブルスに名経大市邨中学の熊谷・宮崎組が臨み、トップ選手のラリー力の高さを見ることができました。試合後には、各選手たちはNTT選手からアドバイスをもらい充実した表情を浮かべていました。



【ダブルス、チャレンジマッチの様子】

このゲームでコートを使った練習は終わり、最後にNTT東日本の選手たちへの質問タイムが実施されました。ジュニア選手たちからは、技術に関する質問はもとより試合に入る前、入った後におけるメンタルの保ち方、ルーティーン、食事など多岐にわたる質問が飛び交っていました。このように大盛況のうちに幕を閉じることができました。



【選手になんでも質問タイムの様子】



【参加、子どもたちと集合写真 2024年度 8/16 バドミントン AICHI フェスタ in おおぶ】